個性発信
話題の商品

スラグ使った路面材
清本鉄工

アスファルトより9℃低く

清本鉄工（宮崎県延岡市、清本邦夫社長）が鉄鋼スラグをリサイクルした路面材の普及を進めている。国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）に登録され、普及の加速が期待される。

路面材「ぱどれすロード」は、グループ会社の九州製鋼佐賀工場（佐賀県武雄市）の製鋼工程から出るスラグを使って開発した。空隙を多くしたポーラスコンクリートとして利用する。透水・保水機能により水たまりの発生を防ぐ。路面の表面温度はアスファルト舗装より4―9度C低くなるという。

現在は武雄市内を中心に提案に力を入れる。新設する公共施設の沿道や駐車場、中学校のプールサイドのスロープなどに施工した。使用する鉄鋼スラグは、路面材の下層で道路を支える路盤材として利用実績があり、佐賀県認定のリサイクル製品でもある。透水性をアピールし、豪雨対策でも認知度向上を図る。今後は佐賀県内を中心に近隣県への販路拡大を目指す。

無断転載・複写禁止 ㈱日刊工業新聞社